

## R01a 高赤方偏移での始原ガス雲の進化

吉田直紀 (名古屋大学)

CDM モデルに基づく初期条件を設定し、重力、流体力学、非平衡化学進化、および放射輸送を取り入れた始原天体形成の大規模数値計算をおこなった。新たに高密度領域での3体反応による分子生成、分子輝線吸収による冷却率の低下、collision-induced emission による冷却をとりいれ、始原ガス雲の進化を詳細に調べた。いったんイオン化されたガス雲が凝縮する場合の進化とも比較し、典型崩壊質量、分裂等について議論する。